

発症を予測する臨床検査 —先制医療で 5 疾病に立ち向かう!

50 兆円に及ぶ医療・介護費の抑制は、重大かつ喫緊の課題です。放置すれば、国民皆保険制度や年金制度の維持はままらなくなります。どうしたらよいか？ その答えは明白です。平均寿命を限りなく健康寿命に近づければよいのです。しかし、言うは易し行うは難しです。医療人の力だけで実現できる、たやすい目標ではありません。しかし、initiative を取らなければならないのは、私たち医療人です。

健康長寿の実現には、疾病の発症を的確に予測し発症前に治療介入していくこと、すなわち先制医療の実践が不可欠です。“先んずれば病を制す”です。

本特集では、医療計画において重要課題となっている 5 疾病(癌、心疾患、脳卒中、糖尿病、精神疾患)を対象とした先制医療と、その一翼を担う臨床検査を取り上げました。

オバマ元米大統領が、年頭教書において precision medicine initiative を提唱してから 4 年。2019 年 年頭にあたり、遅ればせながら本誌でも、先制医療にフォーカスを当ててみました。preemptive medicine initiative !

山内一由(筑波大学医学医療系)